

平成二十九年 大学院人文科学府修士課程第2期入学試験問題
(中国哲学史)

※解答は答案用紙を横(受験番号欄を右位置)にして、縦書きで記しなさい。

一、次の項目から五つを選び、知るところをそれぞれ三〜四行で記しなさい。

- ①晏子 ②慧遠 ③王遠知 ④黄宗羲 ⑤二程
⑥戦国策 ⑦山海経 ⑧四書五経 ⑨真誥 ⑩太極図説
⑪異端 ⑫易姓革命 ⑬華夷観念 ⑭善書 ⑮文字の獄

二、次の中から一つを選び、知るところを具体的に論述しなさい。

- ①中国歴代の王朝・皇帝と儒仏道三教との関係について。
②東アジア各国において儒仏道三教の果たした役割について

三、次の文章を書き下し文に改め、また現代語訳しなさい。『說苑』による)

子石登吳山而四望、喟然而歎息曰、「嗚呼悲哉。世有明於事情、不合於人心者、有合於人心、不明於事情者。」弟子問曰、「何謂也。」子石曰、「昔者吳王夫差、不聽伍子胥、盡忠極諫、抉目而辜、太宰嚭、公孫雒、偷合苟容、以順夫差之志而伐吳。二子沈身江湖、頭懸越旗。昔者費仲、惡來革、長鼻決耳、崇侯虎順紂之心、欲以合於意、武王伐紂、四子身死牧之野、頭足異所、比干盡忠剖心而死。今欲明事情、恐有抉目剖心之禍、欲合人心、恐有頭足異所之患。由是觀之、君子道狹耳。誠不逢其明主、狹道之中、又將危險閉塞、無可從出者。」

四、次の文章を書き下し文に改め、また現代語訳しなさい。『池北偶談』による)

海寧楊以齋、予同年進士、知高要縣、入為給事中。初上諫獵疏、世祖皇帝震怒、親幸南海子、召九卿以下至瞭鷹臺、然後召楊入、諭以安不忘危之意、責以沽名。天威甚厲、衆皆為危懼。然世祖實獎其敢言、有意進用之。康熙初、彗星見、上天變修省疏。廷議遣滿洲大臣巡方、上疏止之。凡所論奏、皆關天下大計。給事中舊司封駁、久廢不行、楊獨行之、直聲震一時。本朝諫官當以以齋為第一、御史當以李琳枝為第一、銓曹當以王東臯為第一。天下公論如此。